アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.127/2017 年 9 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第127号をお届けします.

【1】7月一種研開催報告

7/26(水)～28(金)に，恒例のSAT研・SANE研併催として名工大で開催されました．一般講演が29件，チュートリアル講演が1件，IEEE AP-S Nagoya Chapter特別講演1件，SAT研特別講演が2件の合計33件の発表がありました．多くの投稿を頂いたため3日間開催となりました．チュートリアル講演では，名工大の菊間信良先生から「アレーアンテナを用いた電波源位置推定の今昔物語」というタイトルでご講演いただきました．BWS-1に続き，今回も菊間先生の熱い思いのこもった講演でした．また，衛星関係のテーマでの併催であり境界分野でのディスカッションがより深まったものと思います．併せて，電波伝搬オーガナイズドセッションも行われ9件の発表がありました．年2回の企画であり各機関・テーマの進捗が定期的に把握できるのはいい感じです．というわけで，今回は大変盛りだくさんの一種研でした．懇親会は，20年ぶりに見た名工大名物「古墳」の目の前の会場で開催されました．

【2】2017年度AP研各種委員会の紹介

既に第119号(2017.1)において，各種委員会委員長のご紹介はしておりますが，幹事を含めた執行部体制を改めてお知らせいたします．

・WS常設委員会	委員長　山口　良(ソフトバンク)	幹事　本間尚樹(岩手大)
・論文委員会	委員長　藤元美俊(福井大)	幹事　道下尚文(防衛大)
・アンテナの歴史委員会	委員長　長　敬三(千葉工大)	幹事　大塚昌孝(三菱電機)
・表彰委員会	委員長　岩井誠人(同志社大)	幹事　有馬卓司(農工大)
		幹事補佐　山口　聡(三菱電機)
・国際委員会	委員長　榊原久二男(名工大)	幹事　日景　隆(北大)

AP研では，本来であれば執行部が行う各種の事業・活動を傘下の小委員会に分担・分業しています．これは，これらの事業が膨大でかつ複雑なためです．各委員会は，10～30名の委員で構成されており，専門委員会と各種委員会を合わせるとのべ100名を超える大世帯で運営しているということになります．それぞれの委員会では年2回の専門委員会の約1か月前に，委員会を開催して各分野での審議事項・報告事項・意見交換を行い専門委員会に諮っています．平たく言うと，AP研活動の実働部隊・工作員ということになります．

今回より，旧NHK教育テレビ「はたらくおじさん(※)」風に各委員会の活動内容をお知らせいたします．先ず隗より始めよ，でWS常設委員会から始めましょう．

(※働いているのはおじさんばかりではない!　という批判があり，後に番組名は「はたらくひとたち」に改題されていますが，ここでは当時(私が小学生の頃)の名称を使っています．AP研では，多くの女性研究者・技術者が活躍されております．)

【3】はたらくおじさん「WS常設委員会編」

WS常設委員会(正式名称：ワークショップ常設委員会)は各種委員会の中でも最も歴史がある委員会のようです．5月の委員会は第43回でしたので逆算すると，少なくとも22年前から組織され活動している模様です．名前からわかるように，AP研の主要活動であるワークショップを企画立案し運営していく委員会となります．ここでは，技術トレンドと社会的要望を勘案し，テーマと講師を決めます．(稀に，講師が先に決まることもあり

ます．）次に，実働部隊である実行委員会を組織します．講演やテキストの内容はこの実行委員会に一任されており，学会らしい基礎を大切にした質の高いテキスト・講演を低価格で提供するスピリッツは長年継承されています．これまでに，企画テーマ数40，開催数56(中止含む)の実績があります．また，10年前から研究室に配属された学生や新入社員向けにアンテナ伝搬基礎講座(KK)を開催しています．電磁気学・伝送線路・アンテナ・電波伝搬の4科目を4名の先生が担当しています．3～4年で講師は交代しますので，いろんな先生の講義を聞きつくすというマニアックな受講スタイルもありかも知れません．近年では，新しい試みとしてアドバンスドワイヤレスシリーズ(AWS)やベーシックワイヤレスシリーズ(BWS)も企画されており，多様な技術的ニーズにお応えできるよう努めております．さらに，小規模再開催WSのスキームも整えました．ご要望等ございましたら，WS常設委員会執行部(ap_ac-ap2_chair@mail.ieice.org)，またはAP研執行部へご連絡ください．

現在，準備中のテーマとして「小形アンテナ」，「圧縮センシング」，「メタマテ」，「MIMOアンテナ」，「伝搬測定」，「キャラクタリスティックモード」等，多くの実行委員会にご尽力いただいております．講師・実行委員会の先生方，頑張ってください．聴講者の皆さま，再開催も含めてお楽しみに．これからもよろしくお願いいたします．

【4】今後の一種研開催案内

次回は，10/19(木)・20(金)に，八戸商工会館にて開催され，学生主体の学生セッションが企画されています．チュートリアル講演は富山大の本田先生です．URSI-F特別講演は東洋大の伊藤先生，IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演は八戸工大の小坂谷先生です．11月はRCS研と併催で福岡大にて開催されます．MIMO関連のオーガナイズドセッションが企画されています．12月は年末恒例の機械振興会館です．いわゆるAP研忘年会といってもいいでしょう．是非，ご参加ください．

【5】副委員長の戯言「アンテナのある風景」

名古屋に行くにあたり，ブラタモリでやっていた繁華街の区画に注目して散策しました．番組で言及されたように確かに区画中央に特別な場所があることを指差し確認してきました．私が気になったのは，ビルが林立する当該区画において，なぜか角に平屋のコンビニが多かったことです．何か，特別な事情があるのでしょうか？　詳しい方，教えてください．

先週，ある委員会の打合せで会議室を借りていたのですが，玄関に写真のような案内板が掲げられておりました．「゛」をひとつ取るだけで素敵な学会に大変身～!! なんか，微笑ましいですね・・・．(なお，よくある間違いは「アンテナ伝搬研究会様」というものです．)

【Q&A】 近年のAP研一種研では，世の中の各種イベントの影響によって開催日程等の変更を余儀なくされることがあります．さて，次のうち実際に起こらなかった案件はどれでしょうか?

①AKB総選挙の日程と被ってしまい開催日程を変更した．

②GRAYのコンサートが被ってしまい開催日程を変更した．

③日本外科学会と被ってしまい開催地を変更した．

(前回の答え．今回のソサイエティ大会AP研一般講演数161件は，「②基礎・境界ソサイエティより少なかった」です．ただ，1件だけ少なかったようです．年によっては，多いこともあります．皆様のお蔭であり，感謝感謝です．「①2位に転落」はしておらず相変わらず1位なのですが，一時期に比べるとずいぶんと減少しました．都内開催ということもあるのかも知れません．次回も東京支部管内の東京電機大ですが，多くのご発表をお待ちいたしております．引き続き，よろしくお願いいたします．(東京開催が連続することは珍しいですね．昨年は，福岡・札幌と派手にやったのでその反動でしょうか．)

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　　山口　良（ソフトバンク）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!!　登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/